

ICTを通じて
大学の教育研究を
サポートします

愛媛大学総合情報メディアセンター

Center for Information Technology, Ehime university

2020



ICT（情報通信技術）を通じて 大学の教育研究をサポートします

総合情報メディアセンター（CITE）の大きな使命は、
情報教育・学術研究支援・情報セキュリティ・ネットワーク管理など、学内情報基盤の
統括的運用にあります。

最高情報責任者（CIO）に対応した

- 「ICT 利用教育・情報サービス推進部門」
- 「ICT 利用教育推進室」

最高情報セキュリティ責任者（CISO）に対応した

- 「情報基盤・セキュリティ部門」
- 「CSIRT」

2部門2チームの教職協働体制により、情報基盤整備、セキュリティ及びコンプライアンス対策、
情報系システム整備、ICT 利活用教育推進の四つの役割を中心に活動しています。

センター長挨拶



センター長
樋上 喜信

皆様、こんにちは。いつも本センターの活動に温かいご支援をいただきましてありがとうございます。本センターは、先端研究・学術推進機構に所属し、情報教育、学術研究支援、情報セキュリティ、ネットワーク管理などの幅広い活動を通じて、愛媛大学の情報基盤を支えています。

ここに、本センターの活動をご紹介します。

本センターが管理・運用しております情報基盤システムは順調に稼働し、本学の教育・研究活動、大学運営などを情報基盤として支えています。また、クラウドメール（Office365）、ホスティングサービス及び UPKI 電子証明書発行サービスの利用は全学に順調に浸透しております。さらに、学内の無線ネットワーク環境を整備し、情報教育並びに学術研究支援のためのインフラ環境を提供しています。

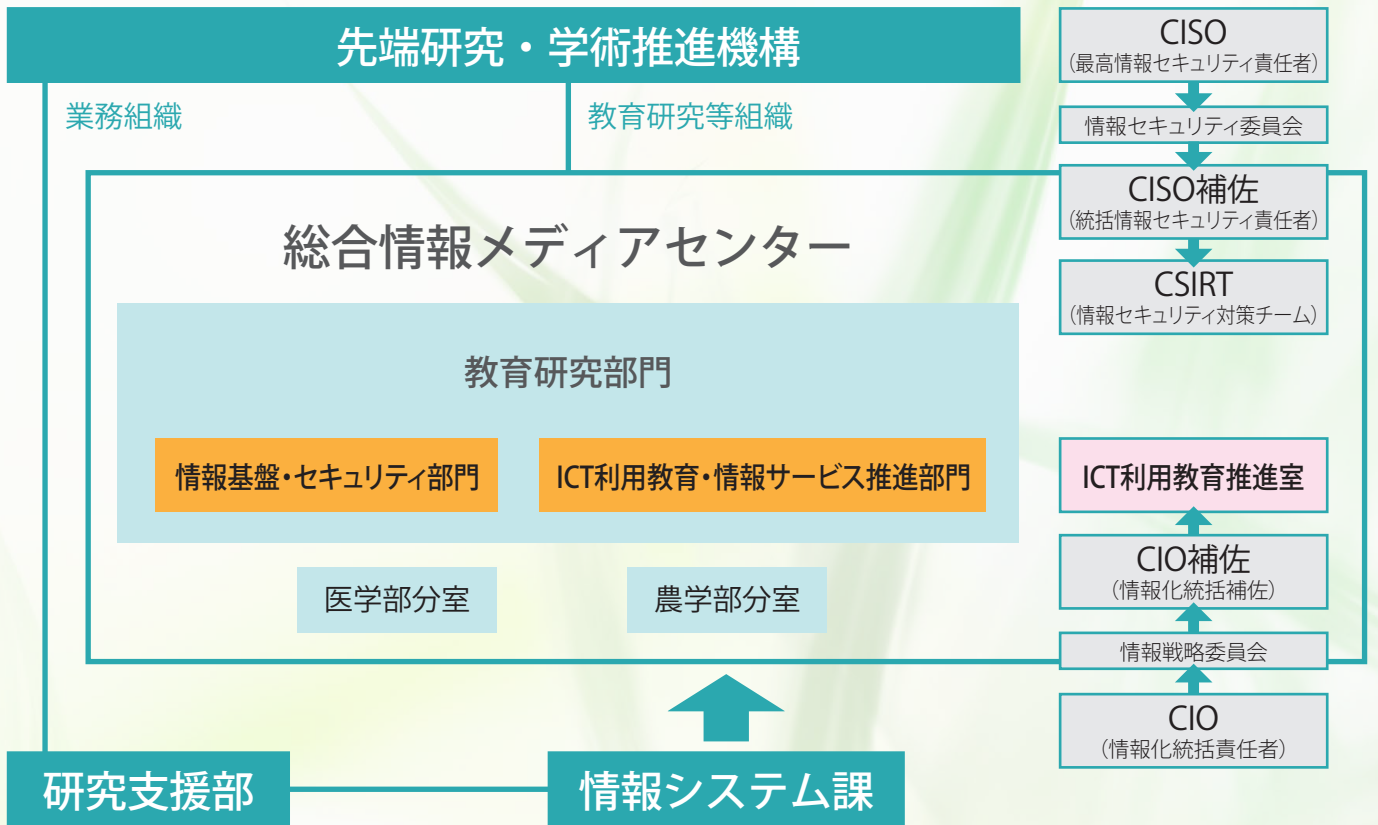
平成 30 年 4 月からは「情報基盤・セキュリティ部門」、「ICT 利用教育・情報サービス推進部門」の 2 部門に改編し、より一層の情報基盤の整備、情報セキュリティ対策の充実、学習管理システム（Moodle）をはじめとする ICT 利用教育の普及・推進に取り組んでいます。昨今、国立大学法人においても情報セキュリティの脅威を未然に防ぐための方策を実施することやインシデントが発生した場合、早急に適切な対処を行うための仕組みが必要とされるため、情報セキュリティ対策チーム（CSIRT）を設置し、全学的な情報セキュリティの確保に取り組んでいます。

また、「愛媛大学にふさわしい情報基盤の役割とは？」という観点から本学の情報化戦略を見直し、センターの現状と課題を分析し、新たな情報基盤の構築に向けて検討を続けております。

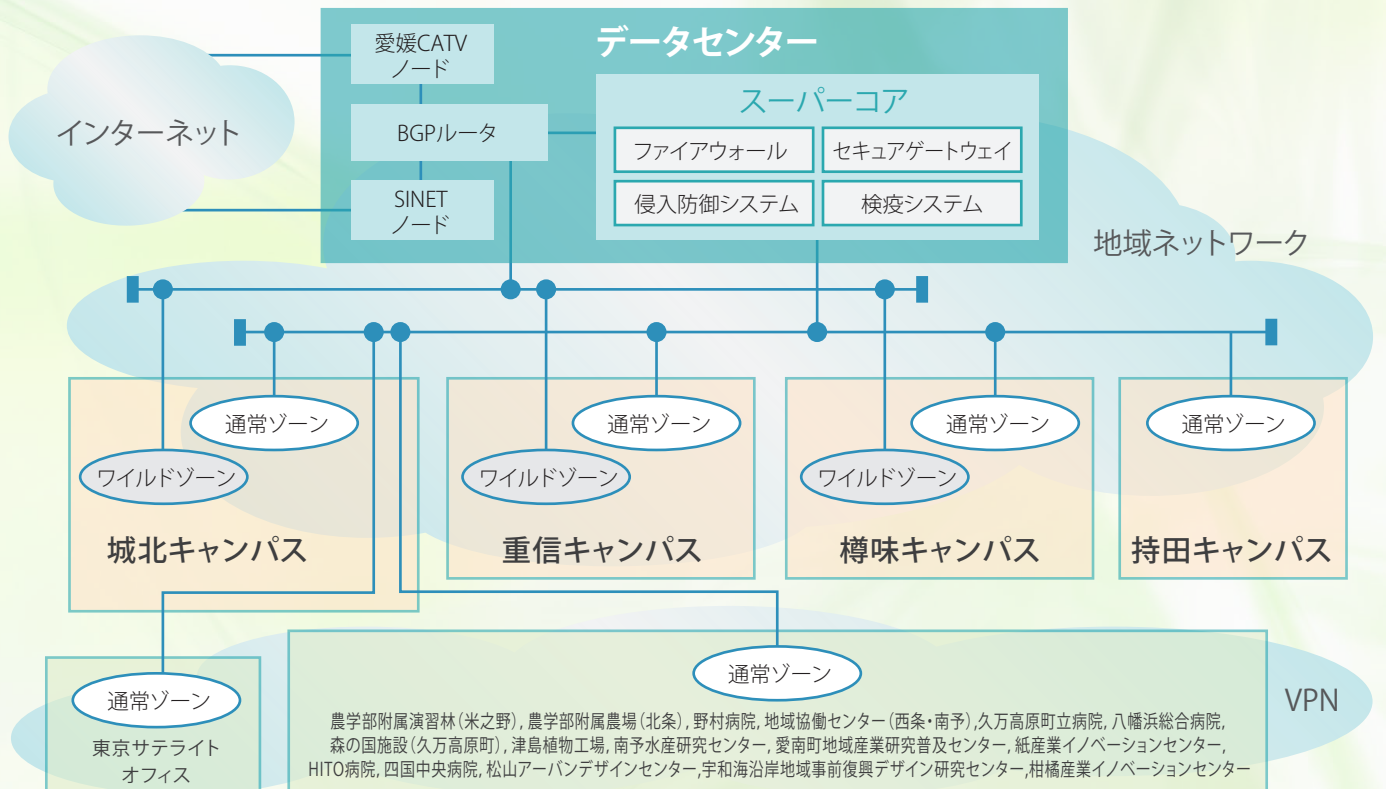
今後も、センター所属の教職員と力を合わせ常に安全で安定した情報基盤を皆様へ提供していく所存です。

本センターの活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

総合情報メディアセンター組織



情報基盤ネットワークシステム



教員紹介

総合情報メディアセンター

情報基盤・セキュリティ部門



川原 稔 教授

専門分野：情報通信システム

(研究テーマ)

情報通信技術を基盤とした応用研究を行っています。医療分野には、視覚機能計測に適用した医療機器の研究開発や、疲労の定量化による労働安全衛生に関する研究を行っています。産業分野には、数理モデルや情報ネットワーク技術を用いて、生産向上や作業効率化を伴う情報システムの構築や様々な問題解決法について研究しています。



阿萬 裕久 准教授

専門分野：ソフトウェア工学

(研究テーマ)

ソフトウェアの品質管理に関する研究を行っています。ソフトウェアは正確かつ安全に動作することが必要不可欠ですが、現実にはさまざまな不具合が見つかり、社会生活へ影響を及ぼしてしまうケースも珍しくありません。ソフトウェアの構造的な特徴や開発工程の特徴を数値化し、データ解析の視点から品質の評価や予測を行なうための理論とシステムを確立すべく、研究を進めています。



佐々木 隆志 助教(兼)

専門分野：情報ネットワーク

(研究テーマ)

時間を越えて過去と、空間を越えて他社と、日々の営みで感じる「つながっている感」をサポートするのがコンピュータの使命だと考えています。自立分散協調的なピア・ツー・ピア型の情報検索システムと情報通信ネットワークの研究により、誰もが自由に情報を利活用でき、流通させることができる未来を目指し研究しています。

ICT利用教育・情報サービス推進部門



田中 寿郎 教授(兼)

専門分野：量子材料工学

(研究テーマ)

金属や化合物の磁気と電気伝導に関する研究を行っています。特に、強磁性になるマンガンを含む酸化物の磁性とその電気伝導機構に関する研究や、強磁性スピネル型酸化物の磁気的性質の改善、さらに非酸化物セラミックスのマイクロ波を用いた合成とその特性について研究しています。



中川 祐治 教授

専門分野：情報認識学

(研究テーマ)

情報認識学を中心テーマとして、人間の視覚をコンピュータで実現する研究を行っています。具体的には、画像データベースにおける検索を画像の類似度に基づいて高速かつ正確に行なうアルゴリズムの構築、次世代 e-Learning システム構築に向けて学習者の学習状況を把握できる受講者観察システムの研究を進めています。



野口 一人 教授

専門分野：光・情報通信ネットワーク

(研究テーマ)

情報通信ネットワークの基盤技術である光通信システムに関する研究を行っています。通信用光デバイスや光センサの高性能化、及び波長ルーティング技術を適用した光通信システムの低消費電力化に取り組んでいます。また、情報通信技術を活用した地域貢献を目指し、遠隔医療に関する研究を進めています。



裏 和宏 助教

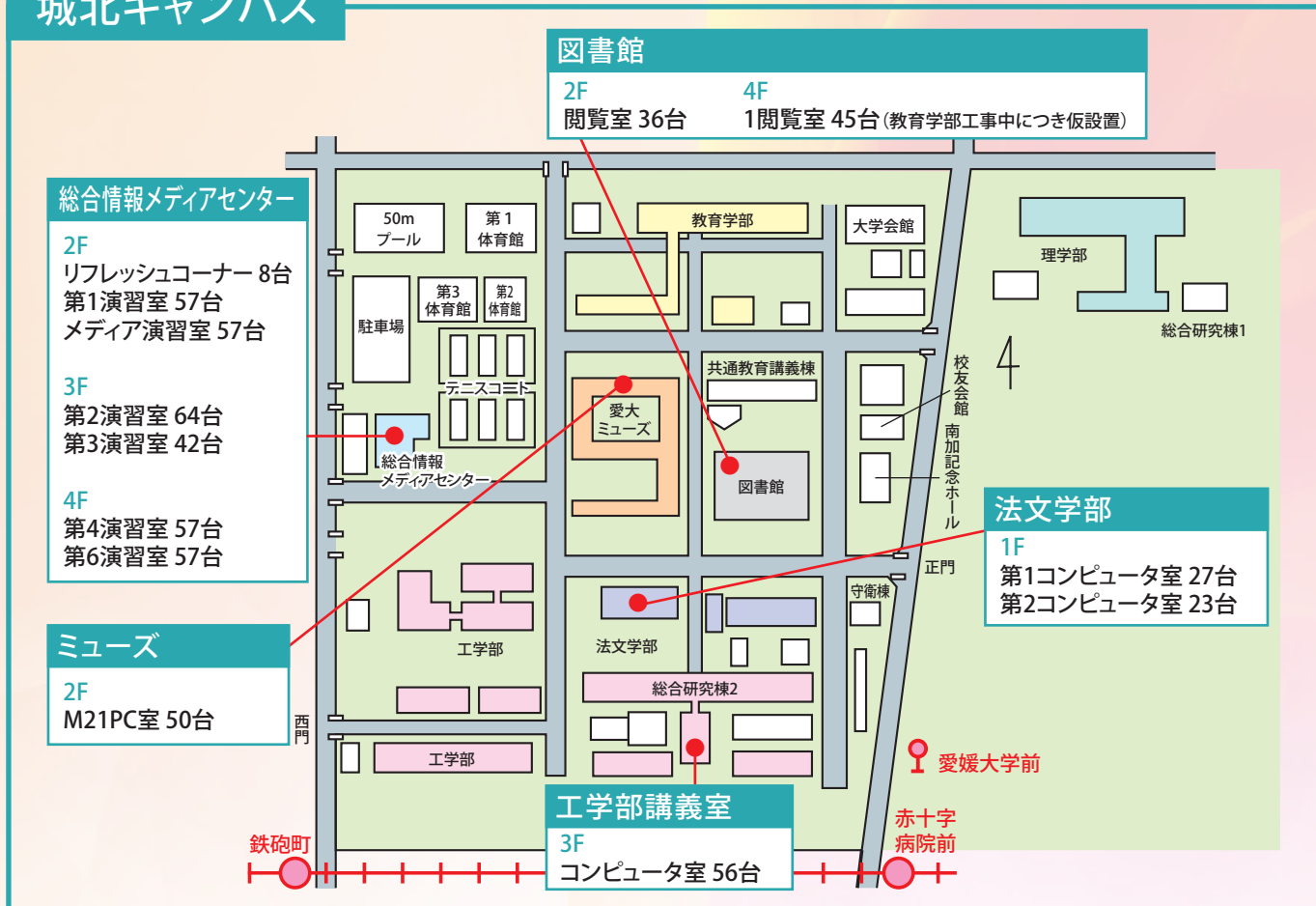
専門分野：教育工学

(研究テーマ)

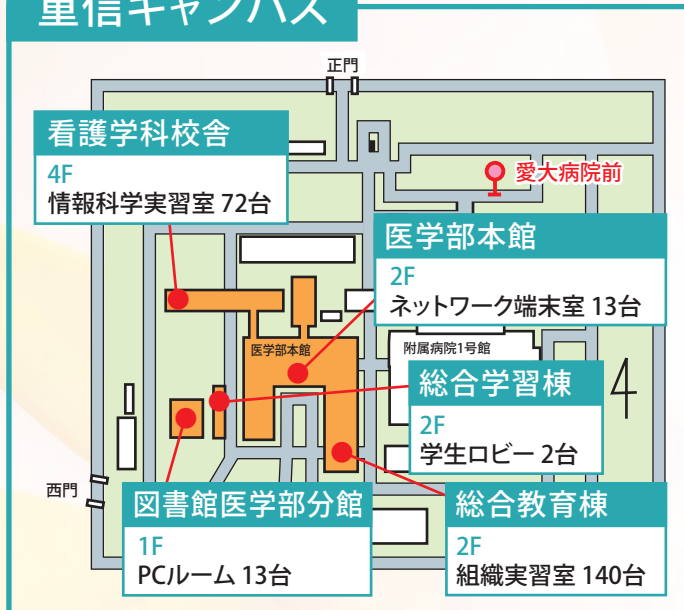
授業における学生の思考過程や知識定着過程、授業の進め方の問題箇所を可視化し、学生や教員に提示して授業改善を行う研究をしています。また、e-Learning の安定した組織運営を目指し、e-Learning における教員の積極的な利用促進や教員負荷軽減についても研究しています。

パソコン配置図

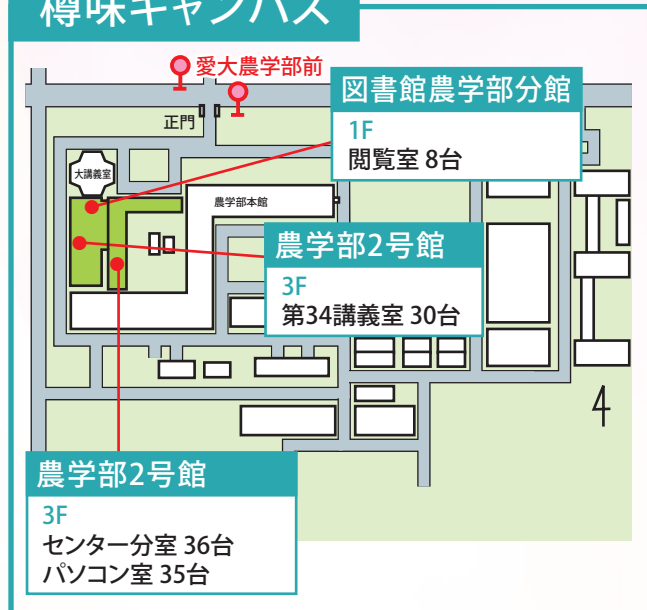
城北キャンパス



重信キャンパス



樽味キャンパス



演習室利用

総合情報メディアセンターが発行している愛媛大学アカウントで利用できるパソコンの設置場所について各部局の利用時間は、時期や曜日により変更される場合があります。

自習室として利用できる時間や授業時間等の詳細は「管理部署」にご確認ください。